

2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 セキ株式会社
 コード番号 7857 URL <http://www.seki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 関 宏孝
 (氏名) 松友孝之
 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 TEL 089-945-0111

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,906	5.5	49		41		16	
2019年3月期第2四半期	5,599	3.9	112		29		21	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 7百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 19百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	3.97	
2019年3月期第2四半期	5.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	18,214	13,708	73.2	3,200.61
2019年3月期	18,446	13,752	72.5	3,210.16

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 13,331百万円 2019年3月期 13,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		12.00		12.00	24.00
2020年3月期		12.00			
2020年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	5.4	180	9.3	316	4.8	200	0.6	48.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	4,508,000 株	2019年3月期	4,508,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	342,557 株	2019年3月期	342,557 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	4,165,443 株	2019年3月期2Q	4,165,444 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、日銀短観によると低水準ながらも、引き続き穏やかな回復基調が続いておりますが、朝鮮半島等地政学的な緊張、米中貿易摩擦をはじめ世界的な自国主義の台頭、また国内では消費税増税により、景況感は先行きが不透明な状況で推移しております。

当社グループの属する業界におきましても、企業の広告宣伝費抑制の動きが継続する中、印刷用紙の値上げや企業間競争の更なる激化に伴う受注単価の下落など、厳しい経営環境が継続しております。

こうした情勢のもと、当社グループでは印刷需要の集中する首都圏・関西圏における印刷関連事業の営業活動を継続的に強化、四国圏内でも既存取引先に対するニーズの掘り起こしを図るなど業績確保に努めたこと、また、水性フレキソ印刷加工事業についても順調に推移し始めた結果、売上高は59億6百万円（前年同四半期比5.5%増）となりました。一方で当初より見込んでいた水性フレキソ印刷加工事業にかかる費用もあり、営業損失は4千9百万円（前年同四半期は1億1千2百万円の営業損失を計上）、貸倒引当金戻入額の増加などにより経常利益は4千1百万円（前年同四半期は2千9百万円の経常損失を計上）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1千6百万円（前年同四半期は2千1百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失を計上）をそれぞれ計上しました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

①印刷関連事業

企業の広告宣伝費の抑制傾向が継続、印刷需要が低迷する中、顧客ニーズに沿った企画提案営業の強化に努めたことや、水性フレキソ印刷加工事業についても順調に推移し始めたことから、売上高は42億4千1百万円（前年同四半期比4.9%増）、水性フレキソ印刷加工事業にかかる費用もあり、営業損失は3千万円（前年同四半期は8千5百万円の営業損失を計上）を計上しました。

②洋紙・板紙販売関連事業

積極的な営業活動により、売上高は2億5千5百万円（前年同四半期比8.4%増）となりましたが、洋紙価格の値上げに伴う市況の悪化や競争激化に伴う利益率の低下などにより、1千1百万円の営業損失（前年同四半期は91万円の営業損失を計上）を計上しました。

③出版・広告代理関連事業

既存メディアでの受注競争が激化する厳しい事業環境下、Web関連商材の提案営業の強化など業績確保に努めましたが、売上高は4億7千3百万円（前年同四半期比1.0%減）、3千6百万円の営業損失（前年同四半期は4千6百万円の営業損失を計上）を計上しました。

④美術館関連事業

セキ美術館では、季節ごとに展示を入れ替えた所蔵作品展を開催しております。売上高は1百万円（前年同四半期比8.1%減）、1千2百万円の営業損失（前年同四半期は1千4百万円の営業損失を計上）を計上しました。

⑤カタログ販売関連事業

オフィス関連用品通信販売業者におけるPB商品の販売が好調であったことや新規商品採用への積極的なアプローチ、エージェントとして新規顧客開拓に努めた結果、売上高は9億3千4百万円（前年同四半期比10.9%増）、営業利益は4千1百万円（前年同四半期比17.2%増）をそれぞれ計上しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億3千2百万円減少し、182億1千4百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が6億3千7百万円と前連結会計年度末に比べ4億4千3百万円増加したことや有価証券が2億円と前連結会計年度末に比べ2億円増加した一方で、現金及び預金が50億7千7百万円と前連結会計年度末に比べ8億5千7百万円減少したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1億8千9百万円減少し、45億5百万円となりました。これは主に、長期借入金が11億8千5百万円と前連結会計年度末に比べ8千7百万円減少、未払法人税等が3千3百万円と前連結会計年度末に比べ8千6百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4千3百万円減少し、137億8百万円となりました。これは主に、利益剰余金が11億9千5百万円と前連結会計年度末に比べ3千3百万円減少、その他有価証券評価差額金が1億2千6百万円と前連結会計年度末に比べ8百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予測につきましては、2019年5月9日公表の通期の業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示を行う予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,935,819	5,077,998
受取手形及び売掛金	2,531,687	2,403,448
有価証券	-	200,465
商品及び製品	139,703	143,827
仕掛品	297,004	367,917
原材料及び貯蔵品	102,788	115,931
未収還付法人税等	195	540
その他	50,714	43,359
貸倒引当金	△64,262	△41,159
流動資産合計	8,993,650	8,312,328
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,984,530	4,008,692
減価償却累計額	△2,012,497	△2,069,557
建物及び構築物(純額)	1,972,032	1,939,135
機械装置及び運搬具	4,836,334	4,918,032
減価償却累計額	△3,291,831	△3,311,043
機械装置及び運搬具(純額)	1,544,502	1,606,988
工具、器具及び備品	1,790,715	1,807,237
減価償却累計額	△412,192	△424,298
工具、器具及び備品(純額)	1,378,522	1,382,938
リース資産	14,133	18,225
減価償却累計額	△8,833	△10,284
リース資産(純額)	5,300	7,941
土地	1,229,979	1,229,979
建設仮勘定	194,082	637,556
有形固定資産合計	6,324,420	6,804,539
無形固定資産		
ソフトウェア	45,596	40,121
その他	9,995	9,161
無形固定資産合計	55,592	49,283
投資その他の資産		
投資有価証券	2,672,195	2,651,161
長期貸付金	14,968	13,475
繰延税金資産	18,122	17,444
その他	377,927	375,892
貸倒引当金	△10,430	△9,971
投資その他の資産合計	3,072,783	3,048,002
固定資産合計	9,452,795	9,901,825
資産合計	18,446,446	18,214,154

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,387,446	1,420,013
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	375,996	375,996
未払法人税等	120,051	33,913
賞与引当金	133,654	135,901
その他	767,643	711,956
流動負債合計	2,834,791	2,727,780
固定負債		
長期借入金	1,273,007	1,185,009
繰延税金負債	46,035	47,575
退職給付に係る負債	377,080	379,933
資産除去債務	3,966	3,988
役員退職慰労引当金	3,300	5,883
未払役員退職慰労金	127,777	126,577
その他	28,398	28,534
固定負債合計	1,859,566	1,777,502
負債合計	4,694,357	4,505,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,201,700	1,201,700
資本剰余金	1,333,500	1,333,500
利益剰余金	11,229,295	11,195,844
自己株式	△503,461	△503,461
株主資本合計	13,261,034	13,227,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,034	126,217
退職給付に係る調整累計額	△24,347	△21,839
その他の包括利益累計額合計	110,687	104,377
非支配株主持分	380,367	376,910
純資産合計	13,752,089	13,708,871
負債純資産合計	18,446,446	18,214,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	5,599,750	5,906,863
売上原価	4,299,918	4,590,677
売上総利益	1,299,832	1,316,185
販売費及び一般管理費		
配送費	199,552	196,541
給料及び手当	440,407	456,433
賞与引当金繰入額	50,695	58,899
退職給付費用	18,538	18,936
役員退職慰労引当金繰入額	483	483
その他	702,596	633,974
販売費及び一般管理費合計	1,412,273	1,365,268
営業損失(△)	△112,441	△49,082
営業外収益		
受取利息	18,603	14,941
受取配当金	18,939	18,833
物品売却益	15,581	12,588
貸倒引当金戻入額	4,945	23,521
仕入割引	4,824	4,930
その他	28,191	26,172
営業外収益合計	91,086	100,989
営業外費用		
支払利息	5,223	7,595
売上割引	570	757
賃貸収入原価	1,838	1,696
その他	985	525
営業外費用合計	8,617	10,575
経常利益又は経常損失(△)	△29,972	41,330
特別利益		
固定資産売却益	17,902	2,963
投資有価証券売却益	8,751	4,046
負ののれん発生益	-	8,870
特別利益合計	26,653	15,881
特別損失		
固定資産除却損	230	8,384
投資有価証券売却損	0	-
投資有価証券評価損	2,999	3,233
特別損失合計	3,230	11,618
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,548	45,593
法人税、住民税及び事業税	19,465	27,357
法人税等調整額	△3,485	4,890
法人税等合計	15,979	32,247
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,528	13,346
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△685	△3,188
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△21,843	16,534

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,528	13,346
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	531	△8,333
退職給付に係る調整額	2,733	2,533
その他の包括利益合計	3,264	△5,800
四半期包括利益	△19,264	7,545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,576	10,224
非支配株主に係る四半期包括利益	△687	△2,679

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,548	45,593
減価償却費	260,321	241,591
有価証券売却損益(△は益)	△8,750	△4,046
有価証券評価損益(△は益)	2,999	3,233
負ののれん発生益	-	△8,870
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,095	△23,562
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,056	△1,172
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,887	5,702
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	483	483
受取利息及び受取配当金	△37,543	△33,775
支払利息	5,223	7,595
有形固定資産売却損益(△は益)	△17,902	△2,963
有形固定資産除却損	230	8,384
売上債権の増減額(△は増加)	113,792	128,513
たな卸資産の増減額(△は増加)	△104,638	△88,179
仕入債務の増減額(△は減少)	△138,461	32,567
未払役員退職慰労金の増減額(△は減少)	△1,200	△1,200
その他の流動資産の増減額(△は増加)	155,595	△1,466
その他の流動負債の増減額(△は減少)	83,477	△339,988
その他の固定負債の増減額(△は減少)	-	△931
小計	303,813	△32,493
利息及び配当金の受取額	37,689	34,027
利息の支払額	△5,223	△7,595
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	75,357	△114,927
営業活動によるキャッシュ・フロー	411,637	△120,988
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,064,069	△1,564,074
定期預金の払戻による収入	964,063	1,464,069
有形固定資産の取得による支出	△396,193	△622,456
有形固定資産の除却による支出	△230	-
有形固定資産の売却による収入	24,692	4,150
無形固定資産の取得による支出	△20,416	△1,147
投資有価証券の取得による支出	△268,994	△211,090
投資有価証券の売却による収入	104,995	220,565
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	16,236
貸付けによる支出	△8,100	△1,780
貸付金の回収による収入	5,506	3,273
その他	△17,231	1,238
投資活動によるキャッシュ・フロー	△675,977	△691,015

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	80,000	-
長期借入金の返済による支出	△113,601	△87,998
自己株式の取得による支出	△1	-
非支配株主への配当金の支払額	△5,554	△5,554
配当金の支払額	△49,985	△49,985
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,341	△2,284
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,483	△145,821
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△355,823	△957,825
現金及び現金同等物の期首残高	3,181,619	4,113,166
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,825,796	3,155,340

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月14日 定時株主総会	普通株式	49,985	12	2018年3月31日	2018年6月15日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月1日 取締役会	普通株式	49,985	12	2018年9月30日	2018年12月3日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月13日 定時株主総会	普通株式	49,985	12	2019年3月31日	2019年6月14日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年10月31日 取締役会	普通株式	49,985	12	2019年9月30日	2019年12月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	印刷関連事業	洋紙・板紙 販売関連事業	出版・広告代 理関連事業	美術館 関連事業	カタログ 販売関連事業	
売上高						
外部顧客への売上高	4,041,526	235,895	478,071	1,846	842,409	5,599,750
セグメント間の内部売上高 又は振替高	114,537	561,375	19,448	—	33	695,393
計	4,156,064	797,271	497,520	1,846	842,442	6,295,144
セグメント利益又は損失(△)	△85,197	△916	△46,858	△14,433	35,478	△111,928

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△111,928
セグメント間取引消去	△512
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△112,441

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	印刷関連事業	洋紙・板紙 販売関連事業	出版・広告代 理関連事業	美術館 関連事業	カタログ 販売関連事業	
売上高						
外部顧客への売上高	4,241,541	255,646	473,481	1,696	934,497	5,906,863
セグメント間の内部売上高 又は振替高	109,491	533,051	21,671	—	—	664,214
計	4,351,033	788,697	495,152	1,696	934,497	6,571,077
セグメント利益又は損失(△)	△30,152	△11,383	△36,213	△12,788	41,576	△48,961

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△48,961
セグメント間取引消去	△121
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△49,082

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損益又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「印刷関連事業」において、当社の連結子会社であるメディアプレス瀬戸内株式会社がメディア発送株式会社の全株式を取得し、連結子会社としております。これに伴い、当第2四半期連結累計期間において、負ののれん発生益8,870千円を特別利益として計上しておりますが、当該負ののれん発生益は、報告セグメントに配分しておりません。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称:メディア発送株式会社

事業の内容:新聞発送梱包作業請負

(2) 企業結合を行った主な理由

メディア発送株式会社は、メディアプレス瀬戸内株式会社が一部出資し、メディアプレス瀬戸内株式会社が印刷した新聞の発送梱包作業を行っておりました。今般、メディアプレス瀬戸内株式会社が全株式を取得し、完全子会社化することで、当社グループ全体としての業務の効率化を図ります。

(3) 企業結合日

2019年9月30日

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

直前に所有していた議決権比率	35.0%
企業結合日に追加取得した議決権比率	65.0%
取得後の議決権比率	100.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

連結子会社であるメディアプレス瀬戸内株式会社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	9,100千円
取得原価		9,100千円

3. 発生した負ののれん発生益の金額、発生原因

①発生した負ののれん発生益の金額

8,870千円

②発生原因

取得時の時価純資産価額が取得原価を上回ったためであります。